

東浦町まちづくりワークショップ

第4回「東浦町の子どもを語ろう！」

開催記録

1 開催概要

- 日時：平成29年12月9日（土） 午後1時30分から午後4時
- 場所：東浦町勤労福祉会館 2階会議室1
- 参加者数：28名
- 内容：
 1. 開 会
 2. あいさつ
 3. 本日の予定について
 4. 東浦町の現状と課題について
 5. グループワーク
テーマ『東浦町の子どもを語ろう！』
ステップ1：「東浦町の現状」
ステップ2：「将来の子どもを語ろう！」
ステップ3：「発表」
 6. 閉 会

2 開催の様子



3 分野のまとめ

時期	現状	将来の東浦に向けて
〽 出産	● 小児科、産婦人科がない ● 乳児をあずかる場所が少ない ● ママ友パパ友との交流の場を増やしてほしい ● 母子手帳配布が平日の限定された日のみでとまどった。仕事をしている人は不便 ● 初めての妊娠・出産の際の不安な気持ちや今後の事について話を聞いてもらったり、相談する場が少ない ● 相談窓口が不明確 ● 出産サポートプランの発信がない ● 出産する若者が少ない、結婚年齢高くなった ● 大人(周囲)の理解がない ● 出産、子育てに漠然とした不安がある ● 支援が身近に感じられない	➢ 企業が出会いの場を創出、婚活 ➢ 空き家などの利活用 ➢ 安心して産める施設制度(金銭)の充実 ➢ 町が、産婦人科の開院希望をPRする! ➢ 広報、回覧板、SNSの活用、情報発信 ➢ 保健所でカウンセリング出来る様にする ➢ 町によるワンストップ窓口!ここに行けば大丈夫なところを ➢ 保健センターの柔軟化 ➢ うららのアピール ➢ 初妊婦、初産婦と経産婦が交流する場を定期的につくる ➢ 行政・地域がパパも育児に参加できるようなものを... ➢ 家族(夫婦)で話し合う機会を多くする ➢ 居場所、常設型のカフェの設立 ➢ よろず相談所(地域コミュニティ) ➢ ベテランの活躍 ➢ 情報の受け手もアンテナを張ること
〽 就学前	● 地域で生き生きしている大人が少ないイメージ ● 自立へ向けて大人が姿勢を示す ● 地域のおせっかいな大人が少なくなった ● 進む核家族化 ● 歩道が悪くベビーカー歩きにくい ● 乳児保育が出来る園が限られている ● 公園、遊び場が少ない、室内ゲームが多い ● 子育てセンターがきれい ● 働き出すと、なかなか子育てについてを話し合う場や時間が持てない ● 保育園の時間延長、保育士の増加 ● 子育て情報発信広報 ● 地域が連携して手助けが必要 ● 幼稚園がひとつしかない ● ピンポンウィンドーと呼ばれていた、よその子ばかり世話をして、うちの子を面倒見てくれない ● うららなど幼児期の子育ての場所は比較的充実している ● 支援とニーズが合っていない部分がある ● 他市町の幼稚園に行っている子どもが地元小学校入学前に児童館などで地域と交流必要	➢ まずは...地域での挨拶から ➢ ボランティアの充実、大人が積極的に活動する場を設ける ➢ つくる!!安全な歩道の整備 ➢ 保育園で乳児保育ができる施設環境作り ➢ 公園、遊具をふやし、就学前の子が遊べる遊具などをふやす ➢ 地域住民による空き家の活用で老若男女がつどえる場に ➢ コミュニティ各地区で親子が集まって遊べるイベントを企画する ➢ 保育士を増やす ➢ 情報発信の機会(方法)を増やす ➢ [行政]受け入れ施設の増加、[行政]受け入れ時間の拡大 ➢ 出産後の働き方キャリア復帰などの情報提供(出産を機に退職) ➢ 企業による働き方の改善、在宅で仕事の出来る環境! ➢ 保育園児と地域の高齢者との交流機会

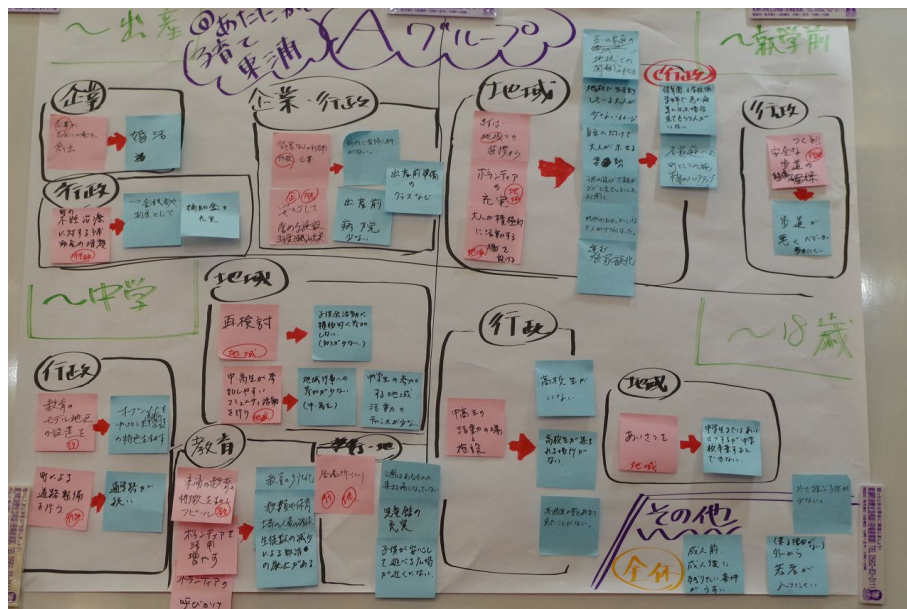
中学	●通学路が狭い、遠い、危険 ●地域行事への参加が少ない(中・高生) ●教員や保育士などの人員の確保 ●児童館の充実 ●子供が安心して遊べる広場が近くにない ●自然の遊び場が少ない！(山・川・海) ●学校が分散している ●学校で福祉を学ぶ機会が少ない ●ネット犯罪の防犯は？ ●子ども食堂が石浜にある ●土曜の授業が多すぎる 親にとっては少し負担かも ●学力向上の取り組み〈放課後授業〉 ●現代社会にそうな授業内容が必要 ●外での子供の見まもりが不明 ●塾代がかかる ●部活動の時間の見直しをしてはどうか 朝の部活動、土日の部活動 ●放課後クラブが比較的充実している ●心なしか、元気がないように思う(小学生) ●心の居場所がない ●地域でめんどろを見る人が減少、気軽に注意する人 ●年代を越えた遊びを見なくなった ●小学生・中学生の減少 ●生徒数の減少＝クラブ活動が減少	➤教育のモデル地区の設置を ➤町による道路整備を行う ➤コミュニティ活動、ボランティア活用を増やす ➤東浦の教育の特徴を生かしアピール ➤自然に興味を持つような教育 ➤あいさつの徹底をする ➤家庭による子どもの地域交流の大切さの自覚 ➤あいさつがしっかりしてる ➤町・地域による居場所づくり・子ども食堂の継続支援 ➤学校側と保護者側との話し合いの場をもうける ➤大学生による補習授業(大学と連携) ➤空教室利用 行政も支援(NPO) ➤第3セクターに開放す ➤地域が運動指導の場をつくろう ➤行政が道路の整備 学校の整備 ➤町による遊ぶ場所、居場所の多様化 ➤小学生と地域の高齢者との交流機会(アフタースクールなどで) ➤小学生の学習サポートを地域で
18歳	●高校生が集まれる場所がない ●中学生まではあいさつするが中学校卒業すると出来ない ●保育園～高校までもう少しアピールポイントがほしい ●高校や大学など学べる場が少ない ●現中学までの医療費の無償化を18才まで延長する ●商業施設がない ●地域で子どもたちの姿を見ることが少ない ●中高生と地域の関わりが少ないように思う ●学生の活躍の場が少ない ●中・高一貫教育システムがない	➤中高生の活動の場と施設 ➤あいさつを ➤オリンピックに出る位の選手を育てる！ ➤高校まで町内で教育 ➤学校の統合 ➤町内で「～大会」を開催し、部活動に力を入れさせる ➤行政が大学の呼びこみ・設置への支援 ➤東浦高校との連ケイ ➤一東浦モデルー特別プログラム作成して発信 ➤地域が子どもたちを巻き込むことを考えよう ➤小中学校を地域に開く。発表会・文化祭公開する ➤コミュニティなどの機関誌にのせ、地域に知らせる
その他	●成人前、成人後に残りたい条件がうすい ●(来る理由がない) 外から若者が入りにくい ●～中学生 安心できる子どもの居場所不足(どこに行っても危ない) ●町がいろいろやりすぎ??安全なことばかり・・・子どもたち自分たちで考えよう ●コミュニケーションの力がいま一歩	➤住民が自分で安全の判断をする ➤地域が多少のやんちゃ・ガキ大将もゆるしてあげてネ ➤公園利用の規制をゆるくする

■ 各グループのまとめ

グループ A

キャッチフレーズ	キーワード	現状	将来の東浦町
～出産～			
あたたかい子育て東浦	企業	● 婚活	➤ 企業が出会いの場を創出
	行政	● 金銭面や制度として ● 補助金の充実	➤ 町の不妊治療に対する補助金の増額
	企業・行政	● 町内に産婦人科がない ● 出産前準備のクラスなど ● 出産前 病院少ない	➤ 空き家などの利活用 ➤ 安心して産める施設制度（金銭）の充実
～就学前～			
	地域	● 互いの家庭の地域での関わりのもち方 ● 地域で生き生きしている大人が少ないイメージ ● 自立へ向けて大人が示せる姿勢 ● 子供の遊びで親が“ダメ”と言っていることをよく聞く ● 地域のおせっかいな大人が少なくなった ● 進む核家族化 ↓ ● [行政] 保育園・小学校低学年で急に病気になった場合、見てもらう人がいない ● 各家庭への町としての施策等のバックアップ	➤ まずは…地域での挨拶から ➤ ボランティアの充実 ➤ 大人が積極的に活動する場を設ける
	行政	● 歩道が悪くベビーカー歩きにくい	➤ つくる!! 安全な歩道の整備
～中学～			
	行政	● オープンS・Cを中心とした東浦の学校の特色を活かす ● 通学路が狭い	➤ 教育のモデル地区の設置を ➤ 町による道路整備を行う
	地域	● 子供会活動に積極的に参加しない（加入が少ない） ● 地域行事への参加が少ない（中・高生） ● 中学生の参加する地域活動のチャンスが少ない	➤ 再検討 ➤ 中・高生が参加しやすいコミュニティ活動を行う
	教育	● 教員の多忙化解消 ● 教員や保育士などの人員の確保 ● 生徒数の減少による部活の廃止がある	➤ 東浦の教育の特徴を生かしアピール ➤ ボランティアを活用増やす ➤ ボランティアの呼びかけ
	行政・地域	● 公園はあるものの集まる場になっていない ● 児童館の充実 ● 子供が安心して遊べる広場が近くにない	➤ 居場所づくり
～18歳～			
	行政	● 高校生がいない ● 高校生が集まれる場所がない	➤ 中高生の活動の場と施設

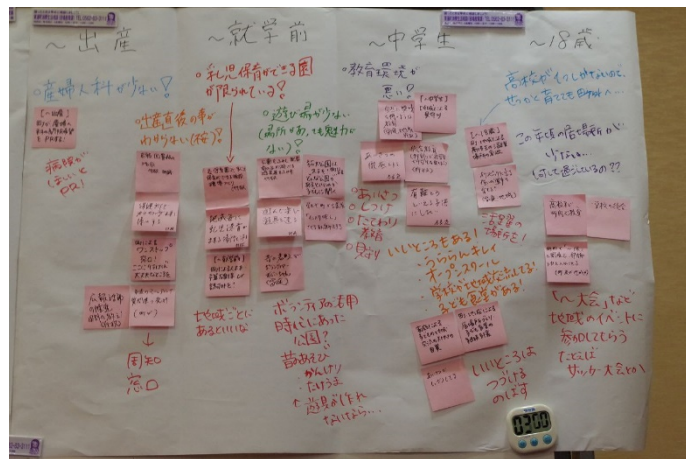
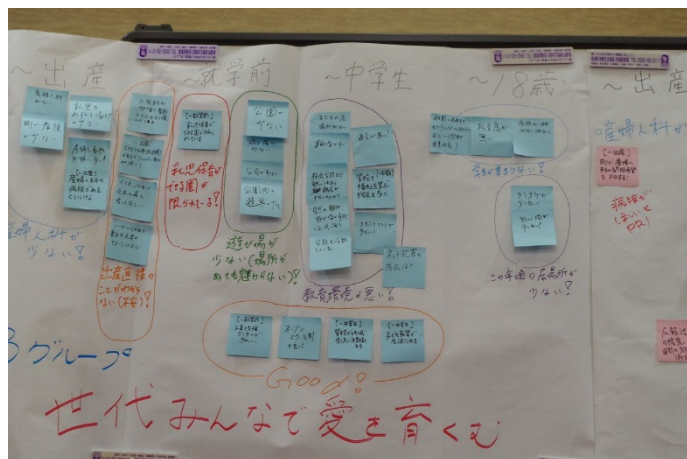
		● 高校生の姿をあまり見たことがない	
	地域	● 中学生まではあいさつするが中学校卒業すると出来ない	➤ あいさつを
全時期について			
		● 成人前、成人後に残りたい条件がうすい ● 外で遊ぶ子供が少ない ● (来る理由がない) 外から若者が入りにくい	



グループB『世代みんなで愛を育む』

キャッチフレーズ	キーワード	現状	将来の東浦町
～出産			
病院がほしいとPR	産婦人科が少ない！	● 産婦人科がない ● 町に産院が少ない ● 乳児をあずかる場所が少ない ● 産婦人科の病院が無い、少ない！ ● 産婦人科の病院があるといいな	➤ 町が、産婦人科の開院希望をPRする！
周知窓口	出産直後のことがわからない（不安）！	● 小児科が少なく、季節によってはよく混んでいる ● どのような制度（手当等）があるか（ホームページ等ではわかり辛い） ● ママ友、パパ友との交流の場を増やしてほしい ● いつまでにどの位の費用が必要かサポートしてほしい	➤ [行政・地域] 広報、回覧板の活用 ➤ [行政] 保健所でカウンセリング出来る様にする ➤ 町によるワンストップ窓口！ここに行けば大丈夫なところを ➤ 制度のマニュアルや質問集の発行（町が） ➤ [行政] 広報活動の推進 個別の教え！
～就学前			
	乳児保育ができる園が限られている！	● 乳児保育が出来る園が限られている	➤ [行政] 各保育園で、乳児保育ができる施設環境作り ➤ [行政] 地域毎に乳児保育が出来る場所を作る ➤ 町による人材・予算確保 or 認可外を！
ボランティアの活用、時代にあった公園？ 昔の遊び ・かんけり ・たけうま ← 遊具が作れないなら…	遊び場が少ない（場所があっても魅力がない）！	● 公園が少ない ● 遊び場が少ない ● 公園が少ない ● 公園内の遊具が少ない	➤ [行政] 公園をふやし、就学前の子が遊べる遊具などをふやす ➤ [地域] 遊んで楽しい遊具を造る ➤ [家庭] 昔の若人がボランティア・おじいちゃん ➤ 於大公園はステキ！町によるどんな公園があるといいのか子どもに聞く ➤ 学生や町が公園等を「インスタ映え」させる取組みをする
	Good!	● 子育てセンターがきれい	➤
～中学生			
・あいさつ ・しつけ ・たてわり教育 ・見守り 4	教育環境が悪い！	● 子どもの居場所がない ● 運動場が少ない！ ● 林間学校など自然にふれあう機会が少ないのでは？ ● 自然の遊び場が少ない！（山・川・海） ● 学校が分散している ● 通学が遠い！ ● 学校で福祉を学ぶ機会を多く ● スポーツクラブが少ない！ ● ネット犯罪の防犯は？	➤ [家庭・地域行政] 自然に興味を持つような教育 ➤ [各家庭] あいさつの徹底をする ➤ 地域による見守り ➤ [行政] 総合教育（タテ割りで高校生が小学生を育てる！） ➤ [各家庭] 有難とうといえる子供にしたい
	Good!	● オープンスクール制が良い！	

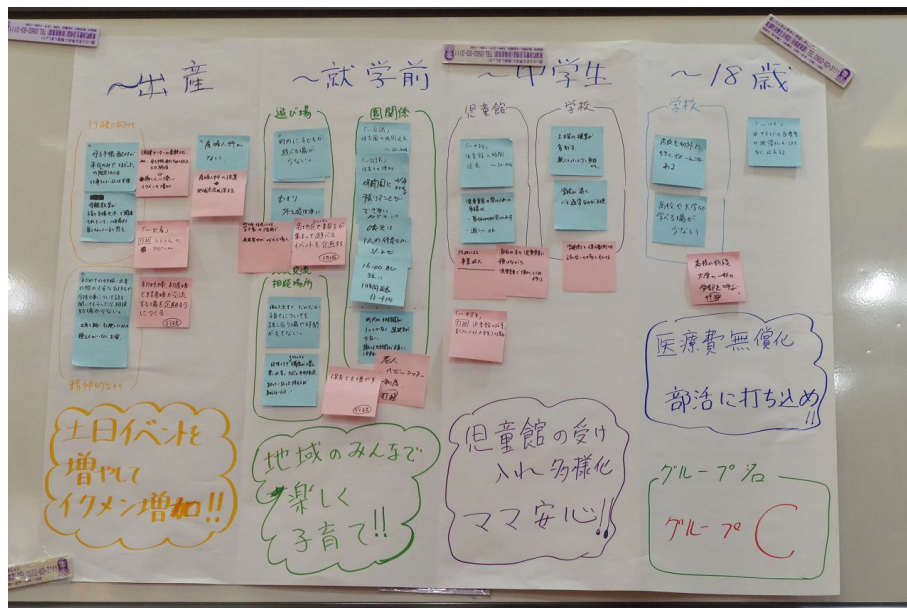
		● 学校が地域交流に積極的 ● 子ども食堂が石浜にある	
	いいところもある！		➢ うららんキレイ ➢ オープンスクール ➢ 学校が地域交流してる！ ➢ 子ども食堂がある！
いいところはつづけるのばす			➢ 家庭による子どもの地域交流の大切さの自覚 ➢ あいさつがしっかりしてる ➢ 町・地域による居場所づくり・子ども食堂の継続支援
～18歳			
高校が1つしかないの、せっかく育てても町外へ...	学生が集まらない！	● 保育園～高校までもう少しアピールポイントがほしい(部活や授業内容) ● 私立高が無い ● 高校が1校しかない(少ない)	➢ 町・地域による高校生の活躍場所の創出 ➢ [家庭・地域]オリンピックに出る位の選手を育てる！
「～大会」など地域のイベントに参加してもらうたとえばサッカー大会とか	この年頃の居場所が少ない！何して過ごしているの??	● カラオケが少ない！ ● 遊び場が少ない	➢ 高校まで町内で教育 ➢ 学校の統合 ➢ [町及び地域]町内で「～大会」を開催し、部活動に力を入れさせる



グループC

キャッチフレーズ	キーワード	現状	将来の東浦町
～出産			
土日イベントを増やしてイクメン増加！！	行政に向けて	- 母子手帳配布が平日の限定された日のみでとまどった。仕事をしている人は不便 - 母親教室が子育て支援センターで開催されていて、10年前より良くなっていると思う	- 保健センターの柔軟化、母子手帳配布日の拡大、土日開催→働く人に優しいイクメンの増加 [行政] うららのアピール
		産婦人科がない	産婦人科の設置→地域交流が深まる
	精神的なもの	- 初めての妊娠・出産の際の不安な気持ちや今後の事について話を聞いてもらったり、相談する場が少ない - 出産を機に引っ越してくる人は頼る人がいなく不安	[行政] 初妊婦、初産婦と経産婦が交流する場を定期的につくる
～就学前			
地域のみんなで楽しく子育て！！	遊び場	- 町内に子どもが遊べる場が少ない - 道路で遊ぶ子どもがいる - あまり外で遊ばない	- 地域住民による空き家の活用で老若男女がつどえる場に [地域] コミュニティ各地区で親子が集まって遊べるイベントを企画する
	地域交流相談場所	- 働き出すと、なかなか子育てについてを話し合う場や時間が持てない - 託児付きリフレッシュ口座が増え楽しめる。ただし平日限定知っている人は得するが知らない人は・・	
	園関係	- 保育園の時間延長～20:30頃 - 保育士の増加 - 保育園に預けることが出来ない 定員オーバー2人目キツイ 0歳児は1人の保育士が3人まで 16:00まで短い 1時間延長月千円 - 町内の幼稚園が1つしかなく選択肢が少ない 預ける時間が短い(早朝が8:30～のため)	[行政] 老人ベビーシッター制度 [行政] 保育士を増やす
～中学生			
児童館の受け入れ多様化ママ安心！！	児童館	- 児童館の時間延長～20:30頃 - 児童館の受け入れの多様化 ◇ 夏休みのみ受け入れ可 ◇ 週1～OK	- 行政による事業拡大 - 自分の子を児童館に預けながら児童館で働くしくみ作り [行政] 児童館の指導員(アルバイト大学生)の増加
	学校	- 土曜の授業が多すぎる 親にとっては少し負担かも - 学校が遠くバス通学なのが不便	学校側と保護者側との話し合いの場をもうける
～18歳			
医療費無	学校	高校も町外に行くイメージが	[行政] 高校の新設 大学の一

償化 部 活 に 打 ち込め！		ある	部の学部を呼ぶ
		● 高校や大学など学べる場が少ない ● 現中学までの医療費の無償化を18才まで延長する	



グループD「子育て世界一」

キャッチフレーズ	キーワード	現状	将来の東浦町
～出産			
	相談窓口	● 妊娠に対しての不安 ● 相談窓口が不明確 ● 出産サポートプランを発信がない	➤ [行政・民間] 婚活（重複）
	相談窓口	● 出産する若者が少ない ● 結婚年齢高くなった ● 出産費用が高い＝行政支援する	➤ [行政] 貧困家庭の支援 ➤ [行政・民間] 婚活（重複）
	産科が少ない	● 産院が少ない ● 町内で出産できる所がない ● 町内に産婦人科のある病院や総合病院がない	➤ [地域と行政] 3歳～の子育て東浦プラン ➤ 出産後の不安解消〈情報発信〉 ➤ [企業] 結婚相談所を増やす ➤ [商工会] イクメンコンテスト子育てフォトコンテスト
～就学前			
	情報発信	● 子育て情報発信広報 ● どういった育児サービスを受けられるか知る機会が少ない	➤ 情報発信の機会（方法）を増やす インターネット等
		● 地域の連携して手助け	
	核家族	● ひとり親世帯の増加 ● 子供が少ない（兄弟）	
	サポート不足	● 保育援助者が少ない ● 保育士不足 ● 子育ての支援者が少ない	➤ [行政] 保育士の増員
	施設不足	● 病児・患児を支援する場がない ● 乳児保育所が少ない	➤ [行政] 受け入れ施設の増加
	魅力	● 私的契約児受け入れ日本一？	
	保護者の就労増加	● 保育時間が短い ● 子どもをあづける時間が適切か？	➤ [行政] 受け入れ時間の拡大
		● 魅力ある内容か？ ● 遊び場少ない ● 運動と遊び ● 安心してあづけられるか？よく食べ・よく寝て・よく遊ぶ ● 室内ゲームが多い	➤ [地域] 運動と遊びのプラン
～中学生			
		● 学力向上の取り組み〈放課後授業〉 ● 現代社会にそのような授業内容が必要 ● 通学路が危険が多い ● 西中生徒が少ない ● 友達関係が薄い ● 外での子供の見まもりが不明 ● 帰宅が遅い ● 塾代がかかる	➤ 大学生による補習授業（大学と連携） ➤ 大学生補習アルバイト募集 ➤ 教育の東浦モデル作る！！ ➤ 空教室利用 行政も支援（NPO） ➤ [行政] 小中一貫（私学） ➤ 第3セクターに開放す
～18歳			
		● 町内に大学がない ● 商業施設がない	➤ 行政が大学の呼びこみ・設置への支援

グループE

キャッチフレーズ	キーワード	現状	将来の東浦町
～出産～			
パパママワイワイ	情報交換	● 家に帰ってきて「子どもの世話をしてくれるなら二人目を生んでいいよ」と言われた ● たまごママ(マタニティママ)向けの情報ってどこにあるの？ ● 子育てのプランがわからない(特にお金) ● 妊婦さん友達つくりたい ● 働くママだと近所でママ友つくりにくい…孤独感	➤ 行政が行政発行の子育て情報誌に載せる ➤ 行政・地域がパパも育児に参加できるようなものを… ➤ 家族(夫婦)で話し合う機会を多くする ➤ [行政]親が集まる機会を設定する ➤ 日だまりなどの居場に参加する
～就学前～			
幼稚園が欲しい	幼稚園が少ない	● 幼稚園が近くに少ない ● 保育園はあっても幼稚園が少ない ● 幼稚園がひとつしかない	➤ 町が幼稚園をつくる
		● ピンポンウィドーと呼ばれていた、よその子ばかり世話をし、うちの子を面倒見てくれない ● うららんなど幼児期の子育ての場所は比較的充実している	➤ 町・住民ともに部活動の日数を見直す
～中学生～			
学校ワイワイ	学校外	● 部活動の時間の見直しをしようか 朝の部活動、土日の部活動 ● 放課後クラブが比較的充実している ● 少年野球とかサッカーとか学校外でもがんばってる	➤ [教育委員会]部活に対するとり決めをつくる ➤ 地域が運動指導の場をつくらう
	設備・環境	● 学校が古くて… ● 自転車通学、どうろ狭いし山だし…大変 ● 高校の通学がたいへんな人もいる	➤ 行政が道路の整備 学校の整備 ➤ 町や県に働きかけ、校舎や道路を整備する ➤ [PTA]校内を見てまわり、改修か所、改善か所を提言する
		● 心なしか、元気がないように思う(小学生)	
～18歳～			
地域でワイワイ	地域との関わり	● 地域で子どもたちの姿を見ることが少ない ● 小中学校の発表会、文化祭を一般住民が見ることができればよい ● 高校生を外で見ることが少ない ● コミュニティー祭りに来る中高生が少ない ● 中高生と地域の関わりが少な	➤ 中高生がコミュニティまつりに出店する ➤ 地域が子どもたちを巻き込むことを考えよう ➤ [教育委員会]小中学校を地域に開く。発表会・文化祭公開する。 ➤ コミュニティなどの機関誌にのせ、地域に知らせる

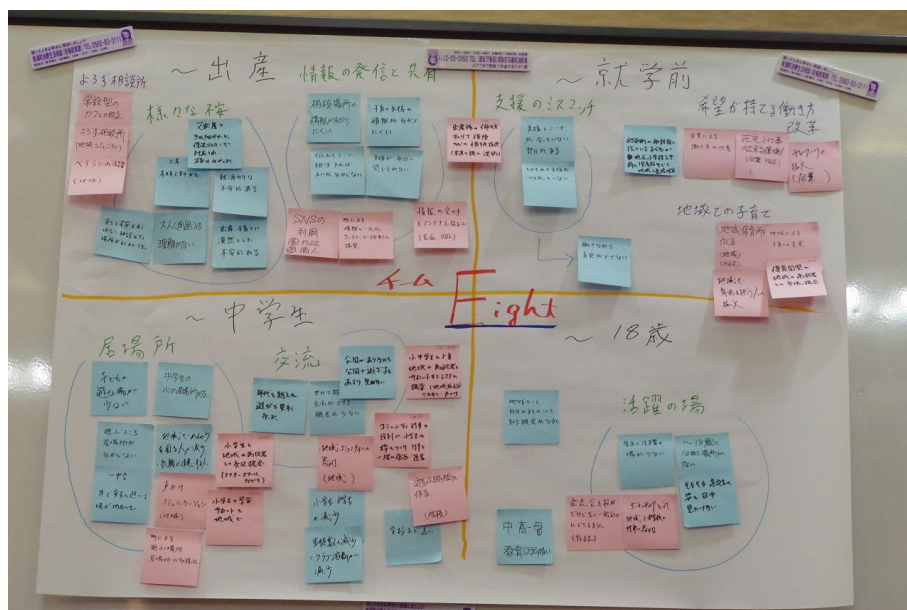
		いように思う ● 習いごとや塾で忙しくて外であそべない ● 小中学校、保育園、児童館と住民とのつながりが少ない気がする ● 地域で子どもを見てやりたいが、そうはなっていないのでは？	
全部			
	安心・安全	● ~中学生 安心できる子どもの居場所不足（どこに行っても危ない） ● 安心・安全求めすぎ ● 町がいろいろやりすぎ??安全なことばかり・・・子どもたち自分たちで考えよう	➢ 住民が自分で安全の判断をする ➢ 地域が多少のやんちゃ・ガキ大将もゆるしてあげてネ ➢ [行政] 公園利用の規制をゆるくする
	その他	● コミュニケーションの力がいま一歩	



グループF (チームFight)

キャッチフレーズ	キーワード	現状	将来の東浦町
～出産			
よろず相談所	様々な不安	● きめ細やかに保健センターで対応され不安はなかった ● 産婦人科がない ● 経済的な不安がある ● 色々と不安がある場合に相談できる場所がよくわからない ● 大人(周囲)の理解がない ● 出産、子育てに漠然とした不安がある	➢ 常設型のカフェの設立 ➢ よろず相談所 (地域コミュニティ) ➢ [地域]ベテランの活躍
	情報の発信と共有	● 相談場所の情報が分かりにくい ● 悩みをどこに相談すればよいかわからない ● 子育て支援の情報が分かりにくい ● 支援が身近に感じられない	➢ SNSの利用 発：行政 受：個人 ➢ 町による情報の一元化、ワンストップ体制の構築 ➢ [家庭・個人]情報の受け手もアンテナを張ること ➢ [行政]出産後の働き方キャリア復帰などの情報提供 (出産を機に退職) (重複)
➢ ～就学前			
	支援のミスマッチ	● 支援とニーズが合っていない部分がある ● →働きながら育児ができない	➢ [行政]出産後の働き方キャリア復帰などの情報提供 (出産を機に退職) (重複)
	希望が持てる働き方改革	● 他市町の幼稚園に行っている子どもが地元小学校入学前に児童館などで地域と交流必要	➢ 企業による働き方の改善 ➢ [企業・行政]在宅で仕事の出来る環境！ ➢ [企業]テレワークの拡大
	地域での子育て		➢ [地域・行政]地域保育所を作る ➢ 地域で育児を担う人の拡大 ➢ 地域による子育ての充実 ➢ [地域]保育園児と地域の高齢者との交流機会
➢ ～中学校			
	居場所	● 子どもの遊び場が少ない ● 中学生の心の居場所がない ● 遊ぶところ居場所がわからない ● 外で安全に遊べる場が地域にない ● 地域でめんどろを見る人が減少、気軽に注意する人	➢ [地域]声かけ コミュニケーション ➢ 町による遊ぶ場所、居場所の多様化 ➢ [地域]小学生と地域の高齢者との交流機会 (アフタースクールなどで) (重複) ➢ [地域]小学生の学習サポートを地域で
	交流	● 年代を越えた遊びを見なくなった ● 世代を超えた交流ができる機会が少ない ● 公園がありながら公園で遊ぶ子をあまり見ない ● 小学生・中学生の減少 ● 生徒数の減少＝クラブ活動が	➢ [行政・地域]小中学生による地域の高齢者をサポートするシステム構築 (地域福祉) ごみ出し・声かけ ➢ [地域]コミュニティ行事の役割に小学生の枠をつくり、行事と一緒に企画・運営 ➢ [地域]地域コミュニティへの

		減少 ● 学校まで遠い	参加 ➢ [地域] 小学生と地域の高齢者との交流機会（アフタースクールなどで）（重複） ➢ [学校] 遊ぶ時間をつくる
➢ ~18 歳			
	活躍の場	● 学生の活躍の場が少ない ● ~18 歳のための場所がない ● そもそも高校生の姿を日中見かけない	➢ [行政] 発表会を校内だけでなく一般向けにできるように ➢ ボランティアとして地域、小中学校の行事に参加
		● 地域のこと、自分のまちのことを知る機会が少ない ● 中・高一貫教育システムがない	



4 参加者アンケートの結果（25 名より回収）

問 1 本ワークショップを知ったきっかけ（当てはまるもの 1 つに○）

選択肢	件数
募集案内チラシ	6
広報	8
東浦町ホームページ	1
SNS	0
友人・知り合いなどから聞いた（誘われた）	4
その他	4

その他

・職員のため

・町のアンケートに同封されていたから

問 2 本ワークショップの満足度についてお選びください。（当てはまるもの 1 つに○）

選択肢	件数
大変満足	4
満足	20
不満	1
大変不満	0

問 2-1（問 2 で 1・2 と回答した方）満足した理由【当てはまるものすべてに○】

選択肢	件数
時間が適切だった	10
作業の内容が適切だった	8
今後のまちづくりを考えるよい機会となった	16
資料等がわかりやすかった	2
その他	0

問 2-2（問 2 で 3・4 と回答した方）満足しなかった理由【当てはまるものすべてに○】

選択肢	件数
時間が足りなかった	1
作業の程度が高すぎた	0
今後のまちづくりについて考えにくかった	0
資料等がわかりにくかった	0
その他	0

問 3 その他、ワークショップ全般に関する感想・ご意見をご記入ください。

「多様な住民要求の集約」今日のやり方はいい方法だと思います。住民の自治参加として good です。
皆さん真剣に町のことを考えているのでとても参考になりました。次回のワークショップにも参加したいです。
町についてこんなに深く考えることはなかったので良い機会でした。ありがとうございました。
結果等のわかりやすい報告をしてほしい。
一般参加できて、様々な意見・希望など聞くことができてよかったです。
毎回町長に現実すぎるとの指摘！
同じテーマでもう 1 回実施すると、20 年後の話も出やすいのではないのでしょうか。
テーマが少し広すぎてまとめにくかった。
参加者に行政関係の方がいるのは情報源として有効だが、現在の実施内容との比較または、それについて発言に制限が出るような気がする。限界を越える議論ができるように、フリーなトークが理想である。
色々な人の意見がわかり良かった。
未だに女性は家庭内で子供を育てるべきとの考えを持つ方がみえビックリです。問題の中で～出産までにおいて出産＝結婚ではないと思います。もう少し進んだ考え方もものをみてるのではないかと…？
・グループワークの前にでも、自己紹介を兼ねたようなアイスブレイク（ゲームなど）が、ファシリテータの先導のもとやれると良いと思います。
・託児を設けておくとう良いのでは？そうすると、ママ世代の参加が増えたかも。